

2011 年度環境活動レポート

対象期間：2011 年 5 月～2012 年 4 月



承認
社長
藤井一博
2012/6/30

発行日 2010 年 9 月 10 日

改定日 2012 年 6 月 30 日

藤井設備工業株式会社

兵庫県小野市敷地町 1382 番地

(目次)

1.組織の概要と対象範囲	3
2.環境方針	4
3.エコアクション21環境経営システム実施体制図と主な責任と権限	5
<EA21環境経営システム実施体制図>	
4.環境目標とその実績	6
5.環境活動計画の取組結果とその評価(2011.5~2012.4)、次年度の取組内容	7
6.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価結果並びに違反、訴訟等の有無	8
7.代表者による全体評価と見直しの結果	8
8.その他	8

1. 組織の概要と対象範囲

EA21-F1302

(1) 対象事業所名：藤井設備工業株式会社

代表者氏名：代表取締役 藤井一博

(2) 所在地：

本社：〒675-1367 兵庫県小野市敷地町1382

注：事業所は上記記載以外に有りません。

(3) 環境管理責任者及び担当者連絡先

・環境管理責任者：藤井 健二（専務取締役）

・担当者名：藤井 景子（総務・経理部）

・TEL：0794-63-4912 FAX：0794-63-4913

(4) 対象事業活動：

管工事、水道施設工事、消防施設工事等

(5) 事業規模

活動規模	2009年度	2010年度	2011年度
売上高（百万円）	139	190	279
従業員（人）	11	8	7
床面積（m ² ）	153	153	153

(6) 主な環境負荷の状況

環境負荷項目	2009年度	2010年度	2011年度
二酸化炭素排出量 kg-CO ₂		27193	29271
廃棄物排出量 t		396	286
総排水量 m ³		221	226

※使用電力の二酸化炭素排出係数は平成24年1月17日付環境省公表の電気事業者別CO₂排出係数（関西電力㈱2010年度実績）0.311 kg-CO₂/kWhを使用している。

※2009年度は、記録が無く記載していません。

1. 環境理念

藤井設備工業株式会社は「水と未来を考え、心が通い合う循環を創り出す。」を経営理念に命と恵みの源泉である水を安全確実にお客様のもとへ届け、再び自然に返すしくみづくりを通して社会に貢献してまいりました。

昨今深刻化している環境問題、とりわけ地球温暖化は地球が私たちに発している悲鳴と考えています。

当社は事業活動のあらゆる分野で環境の保全と環境負荷の削減に取り組み、未来を担う子供たちが美しい自然環境と共に永続的に繁栄出来る循環型社会の構築に貢献してまいります。

2. 活動指針

当社は管工事、水道施設工事、消防施設工事等の事業活動を通じて次の項目に取り組めます。

- (1) 環境関連法規制等及び社内ルールを遵守します。
- (2) エコアクション 21 環境経営システムを構築・運用し汚染の予防と継続的改善に努めます。
- (3) 環境負荷を削減するために次の活動に取り組めます。
 - ① 二酸化炭素排出量の削減（電力使用量の削減及び自動車燃費の向上）
 - ② 廃棄物排出量削減（建設廃材の分別の徹底と削減）
 - ③ 総排水量削減（上水使用量の削減）
 - ④ 紙資源の節約（コピー用紙使用量の削減）
 - ⑤ グリーン購入（グリーン購入の拡大）
 - ⑥ 手直し工事件数の削減（環境負荷の少ない工法の採用）
 - ⑦ 建設現場において環境への取組をチェックし、環境負荷を削減する。
- (4) この環境方針は当社全従業員に周知するとともに、環境活動レポートを公開します。

2010年5月31日 制定

2011年6月30日 改定

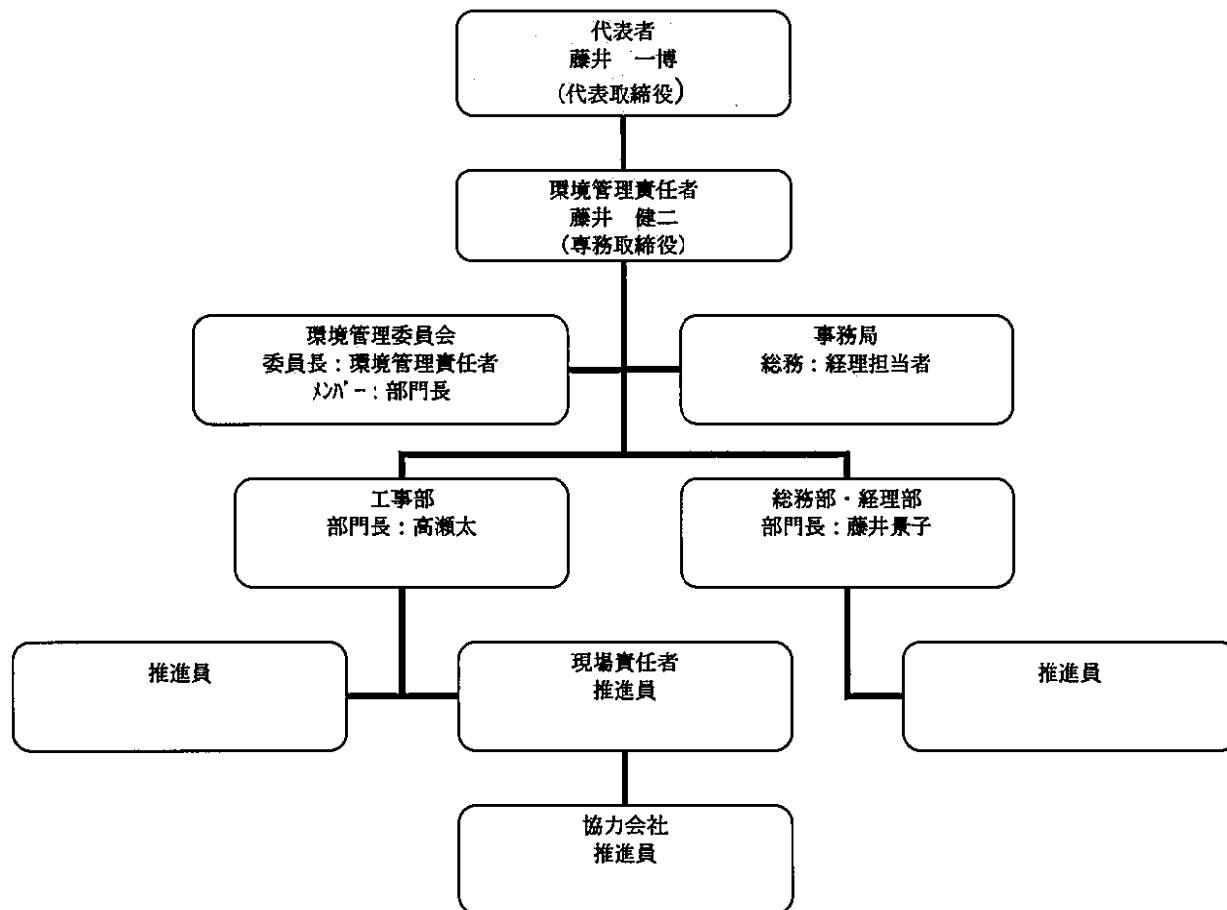
藤井設備工業株式会社

代表取締役 藤井一博 印



3.エコアクション 21 環境経営システム実施体制図と主な責任と権限
 (EA21 環境経営システム実施体系図)

EA21-F0501



(主な役割・責任・権限)

代表者

- ① 環境方針の制定と周知
- ② 環境管理責任者の任命
- ③ 環境経営システム全体の評価と見直し
- ④ 環境活動レポートの承認

環境管理責任者

- ① 環境経営システムの構築と運用、並びに代表者への状況報告
- ② 環境目標及び環境活動計画の承認
- ③ 外部からの苦情等の受付と対応、及び結果の記録
- ④ 環境活動レポートの作成
- ⑤ 年度緊急訓練計画の立案と実施

環境管理委員会

- ① 環境活動目標及び環境活動計画の検討、立案
- ② 環境問題の課題提示、改善策の検討

事務局

- ① 環境活動情報のまとめ、課題の整理
- ② 環境活動委員会検討内容のまとめ、議事録作成
- ③ 環境文書及び記録等の管理

各部門

- ① 環境目標の展開と報告
- ② 関連法規の遵守
- ③ 部内環境教育の実施

3. 環境目標とその実績

当社の主な環境目標と実績は次の通りです。

EA21-

項目	年度 目標実績		2009年度実績 基準年度 2009.5～ 2010.4	2011年度			2012年度	2013年度	2014年度
				2011.5～2012.4			2012.5～ 2013.4	2013.5～ 2014.4	2014.5～ 2015.4
	実績	目標	実績	達成率 %	目標	目標	目標		
CO2総排出量 (事業所+建設現場)		Kg-CO2	42,703.84	—	27,193	—	—	—	
電力	使用量 (事業所)	kWh	10,589	10,060	7,326	127	9,848	9,742	9,636
	削減率(基準年比)	%	—	5	31	—	7	8	9
	CO2排出量	kg-CO2	3,113	2,958	2,154	—	2,895	2,864	2,833
灯油	自動車燃費の向上	Km/L	5.79	5.96	5.87	98%	6.02	6.02	6.02
	自動車燃料使用量 (建設現場)	L	6,377	—	2,214	—	—	—	—
	CO2排出量	kg-CO2	1,875	—	651	—	—	—	—
ガソリン	自動車燃費の向上	Km/L	9.93	10.23	10.47	102%	10.33	10.33	10.33
	自動車燃料使用量 (事業所)	L	7,169	—	8,363	—	—	—	—
	CO2排出量	kg-CO2	2,108	—	2,459	—	—	—	—
廃棄物	産廃の分別の徹底度	%	—	100	94	94	100	100	100
	一般廃棄物の分別の 徹底度	%	—	100	96	96	100	100	100
紙資源	コピー用紙 使用量(事業所)	冊	25	23	22.5	102	22.5	22.5	22
	削減率 (基準年比)	%	—	8	10	—	10	10	11
上水	上水使用料 (事業所)	m ³	237	225	226	100	220	220	216
	削減率(基準年比)	%	—	5	5	—	7	7	9
グリーン購入	グリーン対象商品の購 入の拡大	件	—	—	—	—	12 (1件/月)	24 (2件/月)	24 (2件/月)
環境負荷	建設現場での環境負 荷低減自己チェックポ イントの目標	%	—	100	99	99	100	100	100

- * ・CO₂総排出量には上記のほか、灯油由来のCO₂排出量が含まれています。
 ・電力のCO₂排出係数は1.(6)参照
 ・以上の他に「建設現場における手直し工事発生件数の削減活動」に取り組んでいます。
 ・廃棄物、環境負荷の数値は「環境目標及び環境活動計画と進捗状況管理表」参照
 ・「グリーン購入の拡大」については、2012年5月より取り組みます。

5. 主要な環境活動計画の内容及び取組結果の評価(2011.5～2012.4)、次年度の取組内容

区分	取組の領域	主な取組み	取組み結果の評価	次年度の取組内容
電力使用量の削減	事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・冷房温度を28℃に設定する。 ・空調機フィルターを月に1回以上清掃する。 ・部分消灯の徹底。 ・照明パソコン等不使用時は電源を切る。 ・節電シールの貼付け。 1. 上記の習慣化 2. 新たな削減策の掘り起し	活動目標は127%達成できた。 電力使用量の削減については、夏季のエアコンの使用を控え扇風機で代用したり、部分消灯の徹底から目標が達成できた。	1. 冷房温度を28℃に設定する。 2. 空調機フィルターを月に1回以上清掃する。 3. 部分消灯の徹底。 4. 照明パソコン等不使用時は電源を切る。
上水使用量の削減	事業所	1. 最後の退社する人が、水の出しっぱなしがないか確認する 3. 漏水の点検を月に1回以上おこなう。	活動目標は100%達成できた。 今後も社員の節水意識をさらに高め活動していきたい。	1. 最後の退社する人が、水の出しっぱなしがないか確認する 2. 漏水の点検を月に1回以上おこなう。
軽油・ガソリン使用 自動車 燃料の削減	事業所・建設現場	1. 車別の走行距離、燃費のデータ結果の公表（社内掲示）により意識づけをする。	燃費を意識して運転するようになったが、アイドリング、空ふかし等改善点あり。	1. 運転日報の記録・監理 2. アイドリングストップ
コピー用紙 使用量の削減	事業所	1. コピー機に1枚あたりの経費を表示し、よりミスコピーなどの不要なコピーをへらす。	削減目標をおおむね達成できた。 不要なコピーを減らす努力ができた。	1. 控え用のコピーをパソコンに保存し、コピーを減らす。
廃棄物分別の徹底	産廃（建設現場） 一般廃棄物（事業所）	1. 建設現場で廃棄物の混載を削減する活動に取り組む	活動目標はおおむね達成できた。 分別対象ごとの置き場所を明確にする事で分別が徹底されてきた。	1. 建設現場で廃棄物の混載を削減する活動に取り組む
環境負荷低減	建設現場	1. 環境負荷チェックリストの活用継続と内容の見直し	活動目標はおおむね達成できた。 内容の見直しは次年度へ	1. 環境負荷チェックリストの活用継続と内容の見直し
グリーン購入の拡大	建設現場 事業所及び	1. グリーン購入対象品のリストアップ 2. 購入量の拡大	活動目標はおおむね達成できた。	1. 月1件の購入

6.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価結果並びに違反、訴訟等の有無

1.主要な環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

環境関連法規及び条例	遵守すべき要求事項	遵守評価 (2012年4月30日)
1.廃棄物処理法	・廃棄物の処理委託(一般廃棄物及び産業廃棄物) ・マニフェストによる管理	遵守
2.振動・騒音規制法	・特定建設作業の届出 ・騒音規制基準	遵守
3.建設リサイクル法	・特定建設資材の再資源化 ・分別解体、対象工事の事前届出	遵守
4.家電リサイクル法	適正処理の委託 リサイクル料金の支払い	遵守
5.自動車リサイクル法	適正処理の委託 リサイクル料金の支払い	遵守

2.違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反はありません。環境関連法規の遵守状況については、定期的に「環境関連法規制のとりまとめ・遵守チェックリスト」を基に遵守評価を行っており、2012年4月30日に実施し、その結果、遵守され、問題はありませんでした。

尚、関係当局により違反等の指摘も過去3年間ありません。

7. 代表者による全体評価と見直しの結果

エコアクション21の活動の対象期間(2011年5月～2012年4月)について、代表者による全体評価と見直しを2012年6月30日に実施しました。

見直し結果	変更の必要性の有無及び指示事項
1.環境方針	引き続き環境負荷削減、さらには社会貢献に目を向けて取り組んでいく
2.環境目標	手直し工事について、全員の意識づけが出来つつあり、更に磨きをかけていく。
3.環境活動計画	社員一人ひとりが計画との差異分析が出来るようになる。
4.その他	P D C Aの数値管理、検証から次のアクションプランにつなげる。

尚、この全体評価と見直し結果は、記録「代表者による全体の取組状況の評価及び見直しの結果」に残されています。

8. その他

環境活動レポートについて

- ・「エコアクション21 建設業者向けガイドライン 2009年版」に基づいています。

以上